

# yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より  
パソコン室から 不定期 発行

No. 2

平成19年5月10日  
情報教育アドバイザー  
広田 さち子

## 授業でパソコンスキルを活かす

これまでのスキル授業で、子どもたちは十分学年相応のスキルを身に付けることができます。

スキルの授業は、パソコン操作を習得する授業ですが、何のために習得するかと言えば、パソコンを使って何かできるためです。

パソコンを使えばどんなことができるか、手作業とどのように違うのかがわかり、場合  
場合に依じて、パソコンを使うことがより効果的だと思って、それを選択できるだけの力  
をつけるために行うものです。

情報教育のバイブルとも言える、文科省の平成14年の資料『情報教育の実践と学校の  
情報化』では、情報教育を三つの柱でまとめています。

- ・情報活用の実践力
- ・情報の科学的な理解
- ・情報社会に参画する態度

小学校では特に、この「情報活用の実践力」を中心に進めることが謳われています。

低学年では、お絵描きなどでパソコンに親しむこと、と言われることが多いのですが、  
マウスを使って絵を描くことは、実はたいへん難しいことです。

- ・マウス操作
- ・パソコンとの対話
- ・文字入力

この三つが、パソコンを道具として使うための基本です。

学年相応にこれらのスキルを身に付ければ、自分の力でスキルアップが可能になります。

スキル授業では、「無理なく・楽しく・さりげなく」スキルアップを目指して、さまざま  
な教材や課題を作って、子どもたちがパソコンの習熟ができるように進めています。

先生方も是非、この中から、教科でパソコンが生きる場を見つけて、子どもたちがス  
キルを発揮できる舞台設定を考えることを、いつも心に置いておいてください。

参考URL：文科省資料 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/020706.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/020706.htm)